

セミナーのご案内

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご覧につき、ご高配をお願いいたします

回				
---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 117 (通算 377 回)

2007年7月10日(火)/13日(金)

経営企画・資金運用担当の理事・専任者のための

学校法人資金運用の質的变化とガバナンスの危機管理

～ 役割と責任の範囲の限定、説明性の確保、管理業務の軽減と効率化 ～

組織の中長期的な利益を定義する / 資金運用規程の見直し
運用基本方針書・計画書の策定 / 外部機関との契約書

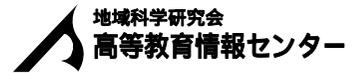
講師

梅本 洋一氏 / (株)アセットマネジメント・ラボラトリー 法人資金運用・管理コンサルタント 非営利法人資金運用研究会事務局長

企画協力 非営利法人資金運用研究会

2007年7月10日(火) / 7月13日(金)

天王洲郵船ビル 会議室 (東京・天王洲アイル)



日時: 第1回: 2007年7月10日(火) 10:00 ~ 16:00

第2回: 2007年7月13日(金) 10:00 ~ 16:00

同じ内容。ご都合の良い日程をお選び下さい。

定員: 各 20 名

会場: 天王洲郵船ビル 14 階会議室

東京都品川区東品川 2-2-20 天王洲郵船ビル

電話: 03(5782)8521

アクセス: 東京モノレール・りんかい線

「天王洲アイル」駅徒歩 3 分

会場の地図及び受講証を送付しますので

必ずご確認ください。

参加費: A. 各一名(資料代込): 73,500 円(消費税込)

B. メディア参加(資料・カセットテープ代込):

74,500 円(送料・消費税込)

C. 非営利法人資金運用研究会員: 52,500 円

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または郵送にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110 - 8 - 81660

全ての口座名 < (株)地域科学研究会 >

ご請求なき場合は振込受領書を領収書に

代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel : 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方が都合の悪いときは代理の方がご出席ください。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 117

2007年 月 日

学校法人資金運用の質的变化とガバナンスの危機管理

7月10日

7月13日

メディア参加

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書 〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

開講にあたって

学校法人の資金運用が多様化、変貌しています。少子化や他校との競争激化の中、生き残りを賭け保有資産からの収益を少しでも底上げし、財務競争力を確保するためです。

しかしながら、従来の学校法人の運用規程等のガバナンス体制で預貯金と国債・公債以外の資金運用・管理を実施するのは非常に危険です。なぜなら、そのような資金運用・管理は必ず個々の商品・証券(債券)・投資環境についての属人的な分析・予測に依存するものであり、しいては理事会と担当役職員の間の役割と責任の統制を妨げる『ガバナンスの危機』がそこに在るからです。

この専任者研修プログラムは、これまでの非営利法人(学校法人、財団法人、社団法人を含む)向けの実践指導の実績をもとに、「資金運用・管理の役割と責任の限定」「運用効果と管理プロセスにおける説明性の確保」「資金運用関係者の日常業務と責任の軽減」を実現する資金運用・管理体制構築のノウハウを学ぶ実践基礎講座です。

今回は、法人組織のインフラとして今後、不可欠と考えられる<資金運用規程の見直し>、<運用基本方針書・計画書>、<外部機関との契約書>について具体的な事例を交えて、わかりやすく解説します。この機会を、貴法人経営を支える資金運用の指針の参考としていただければ幸いです。

時間	講義項目
10:00 }	組織の中長期的な利益を定義する 1. そもそも資金運用ガバナンスとは何を意味するのか? (1)ガバナンスの基本、「誰が?」、「何を?」、「どうやって?」
11:20	2. いまそこにある資金運用ガバナンスの危機 (1)多様化する大学資金運用 (2)「間違えないか?」「説明できるのか?」 3. 資金運用ガバナンスで最も重要なポイント (1)ガバナンスの出発点、「なぜ?」 (2)組織の中長期的な利益とは? 学校法人 A の事例
11:30 }	資金運用規程の見直し 1. 従来の資金運用規程の何が問題なのか? (1)「この商品は安全なのだろうか?」 (2)「この商品は高い単年度収入をもたらすか?」
12:30	2. これからの資金運用規程の策定に不可欠な項目 (1)実行不可能な運用管理の制約を取り払う 財団法人 B の事例 3. モデル資金運用規程 質疑応答

昼 食

13:30 }	運用基本方針書・計画書の策定 1. 運用基本方針書・計画書とは何か? (1)運用面(運用目的・目標とプロセス) (2)ガバナンス面(業務委任とその評価・チェック)
14:50	2. 運用基本方針書・計画書の策定のポイント (1)客観性・合理性 (2)実現可能性 財団法人 C の事例 3. モデル運用基本方針書・計画書
15:00 }	外部機関との契約書 1. なぜ、年金基金、米国公益法人・大学基金は外部機関の支援を受けるのか? (1)自分のものでない資金の運用 (2)法人の運用専門性 (3)運用の自己執行義務とブルーデント・インベスター・ルール
16:00	2. なぜ、彼らは外部機関と契約書を締結するのか? (1)法人投資家と外部機関との思慮深い(ブルーデント)な役割/責任分担 3. 外部機関との契約書・合意書の例 (1)社団法人 D の事例 質疑応答

梅本洋一氏のプロフィール

1967年富山県生まれ。1990年国際基督教大学教養学部卒業後、野村證券に入社。以後13年間、法人・個人の資金運用業務に従事。2003年アセットマネジメント・ラボラトリーに入社。以来、大学法人、財団法人、社団法人等の非営利法人の資金運用ガバナンスおよび運用プランについてのコンサルティング業務に特化。コンサルティング実績多数。また、非営利法人資金運用研究会の事務局長を兼務。論文執筆や法人講習会を通じ、非営利法人の資金運用発展のための普及・啓蒙活動を推進している。